

令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①物語文や説明文において、叙述に即して登場人物の気持ちや内容を具体的に読み取ること。 ②言葉の意味や学習用語を正しく理解すること。 ③登場人物の心情を表す言葉を読み取り、物語文を味わうこと。	①物語文や説明文において、文章において重要な言葉を読み取り、その意味を指導する。 【発見】 ②辞書を活用したり ICT 機器を利用して画像を見せたりすることで、言葉の意味を指導する。 【発見】 ③物語文で心情を表す言葉の見つけ方を指導する。 【発見】	B	
算数	①粘り強く問題に取り組むこと。 ②四則計算の習熟を図ること。 ③図形の意味や性質を基に図形を弁別すること。	①問題文をよく読み、必要な数値や数値の関係に着目することで問題場面をとらえる指導を充実する。 【発見】 ②問題場面を図で表し、図で考えた結果を式で表したりすることで、筆算の考え方や計算の仕方を理解させ、計算を確実にできるよう指導する。 【表現】 ③図形の観察や操作活動を通して、図形の意味や性質を基に考えさせる指導を充実する。	B	
理科	①観察や実験に関する基本的な知識や技能を身に付けること。 ②主体的に問題を解決しようとする姿勢を育成すること。 ③自然事象に興味や関心を持ち、差異点や共通点をもとに問題を見出すこと。	①手順や注意点を指導したうえで、観察・実験の時間を確保し、主体的に観察・実験できるように指導する。 【発見】 ②観察・実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察させる指導の充実を図る。 【表現】 ③身近な自然事象を多く例示し、児童の関心を高め主体的に学習に取り組む活動を充実する。 【発見】	B	
社会	①課題に応じて資料を読み取ること。 ②調べ学習において、資料の中から必要な箇所を取り出したり、選んだりすること。	①課題に対して、教科書や ICT 機器等を活用し、資料から適切に情報を読み取れるようにする。 【発見】 ②自分の考えの根拠として、図や写真、グラフなどの資料を活用することができるようになる。 【発見】	B	
音楽	①様々な声の出し方、発声方法を身に付けること。 ②リコーダーの技能を身に付けること。 ③互いの演奏を聞き合いながら、自分の演奏の工夫をする。 ④演奏すること、表現することの楽しさを知ること。	①様々な歌唱教材を使い、多様な声の出し方、発声方法を指導する。 【発見】 ②リコーダーの基本的な奏法を繰り返し練習し、しっかりと身に付けさせるとともに、演奏する楽しさを味わえるような活動の場を設定する。 【決定】 ③友達の演奏に耳を傾け、自分の演奏と友達の演奏を比較したり共有したりしながら、演奏の工夫をしていくける活動の充実を図る。 【対話】 ④演奏する楽しみ、表現する楽しみを味わえるような教材や活動を取り入れ、子供たちが笑顔で楽しめるような授業の充実を図る。 【表現】	B	
図画工作	①材料や用具の基本的な扱いを理解すること。 ②自分の学習として主体的に取り組むこと。 ③自分の目標達成のために計画的に進める力を身に付けること。	①実物を用いた演示や ICT 機器を活用して分かりやすい資料を充実させる。 【発見】 ②児童の興味・関心、生活などと題材を関連付け、主体的に活動する態度を育てる。 【表現】 ③試行したり選択したりする場面を設定し、時間配分を考えて活動できる力を育てる。 【表現】	B	
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択できること。 ③毎時間の運動量に個人差があること。	①友達の手本や ICT 機器を活用した例を活用し、より正確な動きを身に付けられるようにする。 【対話】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、習熟に応じて、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。 【表現】 ③準備運動後の体づくり運動で、走る運動を継続的に取り入れていく。 【表現】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。